

民家の廃材不法投棄

伊勢 津の解体業者を逮捕

【度会郡】民家の解体で出た廃材を不法に捨てたと

して、県警生活環境課と伊勢署は三十一日、廃棄物処理法違反（不法投棄）の疑いで、津市柳山津興、解体業水野里樹容疑者（四七）を逮捕した。

逮捕容疑は昨年六月二十七日から同年七月十三日ごろまでの間、玉城町玉川西之浦の山林に、木造二階建一軒家を解体した際に生じた木くずやがれき類約二十

トを不法に捨てた疑い。容疑を認めている。

同署などによると、この山林に不法投棄された廃材は他にもあるという。県警は複数の業者が不法投棄をしていた疑いがあるとみて、調べを進めている。

県廃棄物監視・指導課によると、複数の事業者による不法投棄は少なくとも平成二十二年五月には始まっていた。県は事業者に不法投棄を辞めるよう指導した

が、その後も続いたため県警に相談した。

県の担当者「廃棄物の総量について一捜査に支障を

来たす恐れがあるので言えない」と話している。

（倉持亮）